

会合

SEforALL 定期開催フォーラムに参加しました

【事業概要】

一般財団法人省エネルギーセンターは、経済産業省の委託を受けて、2018年5月、ポルトガル・リスボンにて開催された、SEforALL定期開催フォーラム及びSEforALLのHub間会議に参加し、前者においては、SEforALL幹部を含む関係者との情報交換・ネットワーク構築を行いました。後者においては、テーマ別ハブ、地域別ハブともに、ハブ活動の活発化に向けた協力推進の検討が行われました。



フォーラムでのSEforALLのCEO



ECCJとSEforALLの事務局長

2018年5月2日～4日の3日間のうち、初めの2日間はフォーラムで、2030年に向けて設定されたSEforALL全体としての目標達成見込みが小さいことと、比較的費用のかからない省エネルギーへの期待感が大きい点が述べられました。また、ADB, EBRD, IDB, IsDB, AfDB等のMDB (Multilateral Development Bank)など、資金力を持つ機関との連携が、世界的に見て省エネ推進プロジェクト遂行のポイントとされました。

また、SEforALLのHub間会議においては、アジアでのSEforALL活動強化のためには、省エネアドバイザーによる、省エネ体制立上げ支援、最新省エネ技術・省エネ技術導入優秀事例の紹介等により、MDBによる将来の投融資案件形成に繋げていくという発想の重要性が指摘されています。ECCJとしても、上記シナリオに即した活動を推進し、省エネ技術導入の実績を広く発信するとともに、日本企業がSEforALLのネットワークを活用できる仕組みを今後検討していきます。

※SEforALL(Sustainable Energy for All) : 万人のための持続可能なエネルギー

2011年9月に国連事務総長が「エネルギーは全ての国の経済開発の根幹にある」として提起したイニシアティブとして開始された（現在はNGO）。目標として、「①近代的エネルギーへの普遍的アクセス達成」、「②世界全体でのエネルギー効率の改善ペースの倍増」、「③世界全体での再生可能エネルギーのシェア倍増」を掲げている。